

モクズガニの甲長と体重との関係

堀江 康 浩 ・ 松 本 全 弘

調 査 方 法

調査したモクズガニは10月16～17日、亀の川の川口約2～3 km上流（和歌山市本渡）で採捕された雄46匹、雌40匹と紀ノ川の河口約30 km上流（伊都郡かつらぎ町笠田）で採捕された雌48匹である。甲長はノギスを用い0.1 mmまで、また、体重は脚等の脱落のないものを0.1 gまで測定し、甲長（CL）と体重（BW）との関係は、最小二乗法によりアローメトリー式に近似した。

結 果

甲長と体重との関係は図に示すとおりで、それぞれ次式で示される。

$$\text{亀の川雄} : BW = 1.180 \times 10^{-4} CL^{3.4578} \quad (r = 0.9956)$$

$$\text{同 雌} : BW = 8.358 \times 10^{-4} CL^{2.9175} \quad (r = 0.9876)$$

$$\text{紀ノ川雌} : BW = 5.500 \times 10^{-4} CL^{3.0226} \quad (r = 0.9771)$$

雄は雌に比べ鋏脚が大きく、そこに密生する柔毛の量も多いことから、同一甲長において雄は雌より体重が重く、その特徴は成長に従って著しくなる傾向がある。また、両河川の雌についてみると、河川の規模にかかわらず両者に大きな差はみられない。

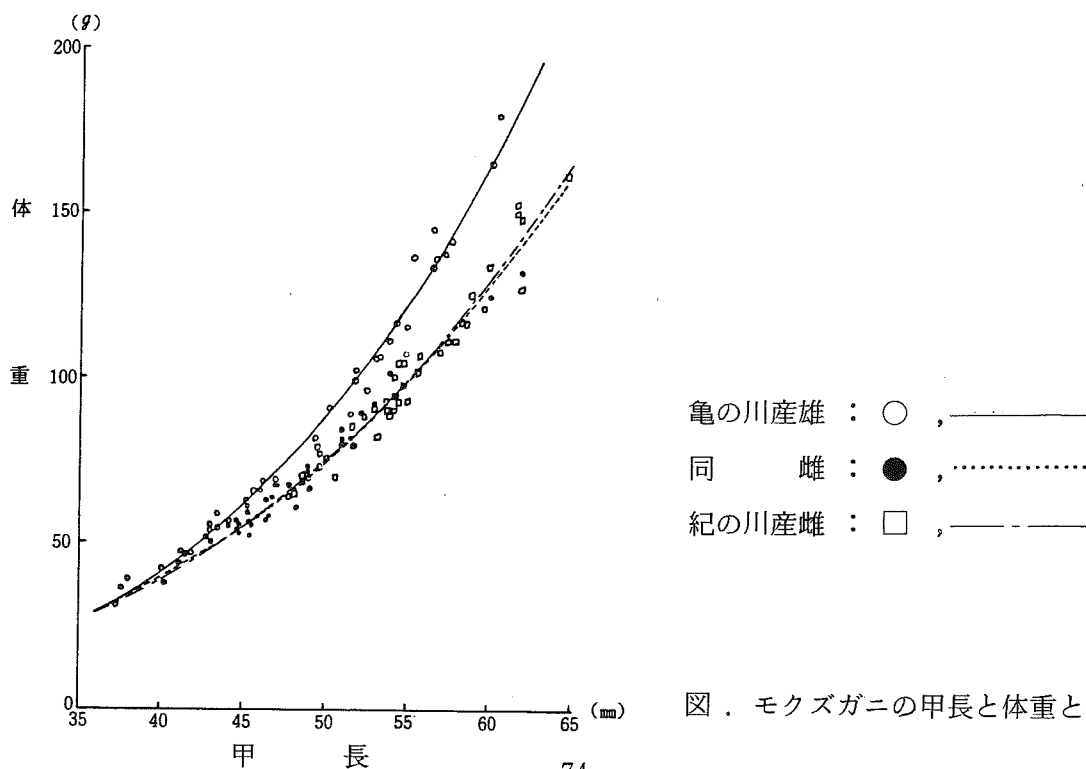


図 . モクズガニの甲長と体重との関係